

シニア女性映画祭はシニアの女性監督作品、シニア女性が描かれた作品を上映します

10/29(金) 10:00 開場

「原発の町を追われて 10 年」

監督 堀切さとみ
ドキュメンタリー / 50 分 / 2021 / 日本
◆ゲストトーク 鶴沼久江さん

福島第 1 原発事故で 7000 人の住民が全国散り散りになった双葉町。10 年経った今、中間貯蔵施設だけがそびえ立ち、家屋も緑豊かな風景も破壊された町に帰還する人はいない。五輪を理由に復興を進め、来年には帰れると言われても町民の思いは複雑だ。原発の間近で暮らしていた家族の 10 年の軌跡を辿り、復興の在り方を問うドキュメンタリー。



【監督紹介】

1965 年生まれ、さいたま市の小学校で給食調理員として働きながら映像制作をしている。福島第一原発事故以来、双葉町を追い続け 2017 年に「原発の町を追われて」3 部作を完成。

10/29(金) 13:30 開場

関久子さん生誕 120 年記念

「大老女－関久子さん」

監督 伊藤えり子 ドキュメンタリー / 28 分 / 1996 / 日本
◆監督トーク 伊藤えり子さん

1901 年生まれの平和運動家関久子は、敗戦後大阪で婦人民主クラブの結成に尽力し、1970 年に能勢ナイキ基地反対闘争に加わるかわら、その地の休耕田を借り葉草と野菜を育て始める。後継者である製作者は、「関さんが元気なうちに形にして感謝をつたえたい」との想いで、95 歳で亡くなる晩年 10 年間に記録した。



【監督紹介】

1951 年山形県生まれ。1985 年に 2 年半の渡米より帰国。関久さんに野草を学ぶ。1987 年に大阪能勢町に「べにばな野草園」を開き、その後、山形に移り、野草茶や入浴剤、ドクダミ水などを作っている。

「私と関久子さん」

インタビュー / 10 分 / 2021 / シニア女性映画祭

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手指の消毒とマスクの着用および体温測定のご協力をお願いします。
- ・提供された個人情報は（運営や募集案内の目的においてのみ使用するほか）感染症拡大予防のため、必要に応じて保健所等の公的機関へ提出しますが、他の目的には一切使用しません。

10/30(土) 10:00 開場

「響き合う女たちの声」

監督 簡偉斯 (チェン ウエイスイ)
ドキュメンタリー / 60 分 / 1997 / 台湾 (日本語字幕)
◆トーク: 洪郁如さん (録画)

1971 年、台湾に帰国した呂秀蓮は、「女子学生が増えたことを資源の浪費といい、浮気を理由に妻を殺した夫に同情が集まる社会風潮」に対して、批判の意見を発表。ここから台湾の新しい女性解放運動が始まった。戒嚴令の弾圧の中、民主化運動と共に歩んだ女たちの感動の記録。



【監督紹介】

1962 年生まれ。大学卒業後、働きながら演劇活動をする。その後、米国の大学院で映画を学ぶ。共作「跳舞時代」(2003) で金馬賞受賞。「結び合う女たちの絆」(2004) など。

10/30(土) 13:30 開場

シニア女性映画祭 10 周年記念特別上映
特別協賛・ルクセンブルク大使館

「彼女たちの物語 (A History of Women)」

監督 アン・シュローダー
ドキュメンタリー / 70 分 / 2018 / ルクセンブルク (日本語・英語字幕)
◆トーク: 未定

ルクセンブルクは人口 63 万人の多言語国家だ。2019 年に女性参政権 100 年を迎えた。2018 年制作のこの映画は、20 ~ 21 世紀の異なった世代の女性それぞれ 5 人が語る個人史と女性解放運動の歴史のドキュメンタリー。2021 EU 映画祭で日本初上映。(今回の上映にあたりルクセンブルク大使館のご協力をえました)



【監督紹介】

1972 年ルクセンブルク生まれ。ドキュメンタリー作品「青春物語」(2001)

「交流会～映画祭 10 周年を祝う」

2021 年 10 月 30 日 (土) 17 時 ~ 19 時
場所 ホテルアイボリー 3F (徒歩 5 分)
会費 3500 円 (食事付)
要予約 20 人 (23 日締切)
090-2700-4557 (正木)